

平成29年度 功 勞 賞 受 賞 者

(市町村体育協会推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
1	おりかさ みつる 折笠 満	昭和52年 4月～平成19年 9月 中山町体育協会 常任理事 平成19年10月～現在 中山町体育協会 副会長	中山町 体育協会	平成19年10月まで中山町体育協会常任理事を務められ、任期途中で副会長に就任され、6期11年目となっている。永年にわたり、スポーツの振興と普及に尽力され、副会長として会長を補佐しご活躍されている。また、当協会テニス部に所属するスポーツ少年団テニス部において指導にあたり、多大な貢献をされている。
2	さとう おさむ 佐藤 攻	平成17年 4月～20年 3月 米沢市体育協会 理事 平成20年 4月～26年 9月 米沢市体育協会 副会長 平成26年10月～現在 一般財団法人米沢市体育協会 副会長 平成17年 4月～現在 特定非営利活動法人山形県サッカー協会副会長 平成17年 4月～現在 米沢地区サッカー協会 会長 平成15年 4月～20年10月 米沢南部キッカーズ 団長 平成20年11月～現在 NPOアビーカ米沢スポーツクラブ 理事長 平成24年 6月～27年 6月 (公財)山形県体育協会 評議員	米沢市 体育協会	永年にわたり、米沢地区サッカー協会会長として、スポーツ少年団から社会人まで、幅広い選手の育成、競技力向上、強化に努める一方、体育協会理事、副会長として、市のスポーツ振興・発展に寄与した功績は大である。特に、当協会の組織改革である「法人化」実現の基本要項や検討準備委員会で手腕を発揮され、早期に法人化の実現に尽力された。
3	きくち ひでのり 菊地 秀徳	平成17年 4月～19年 3月 高島町体育協会 理事 平成19年 4月～23年 3月 高島町体育協会 副会長 平成23年 4月～29年 3月 高島町体育協会 会長	高島町 体育協会	地域スポーツの普及振興に多大な業績を挙げられ、高島町体育協会副会長の4年間は、特にスポーツ少年団本部の組織強化と運営に尽力された。また、本協会の地位(財政基盤の確立、透明性の高い組織運営)の向上を目指し、一般社団法人取得に特に貢献された。本協会の理事としても永年にわたり従事され、副会長・会長の要職を歴任し、豊富な経験と優れた見識をもって協会運営をされ、本協会の発展に大きく寄与された。

(競技団体推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
4	いけだ まさとし 池田 正敏	平成 9年 4月～24年 2月 山形陸上競技協会 理事兼記録部長 平成24年 3月～現在 (一財)山形陸上競技協会 理事兼記録情報部長	山形 陸上競技 協会	山形陸上競技協会理事として、長年にわたり組織運営・競技運営に携わり、本県陸上競技界の発展に尽力された。陸上競技を通して、山形県スポーツの発展に貢献した功績は大である。
5	がっこう たつひろ 月光 龍弘	昭和62年 5月～平成25年 3月 山形県水泳連盟 評議員・理事 平成17年 4月～25年 3月 山形県水泳連盟 事務局長 平成25年 4月～現在 山形県水泳連盟 監事	山形県 水泳連盟	昭和62年から現在に至るまで30年以上にわたり、理事・評議員・事務局長・監事として山形県水泳連盟の発展に貢献された。特に、平成17年から4期8年間、事務局長として本県水泳界の普及・発展に尽力された。現在、東北水泳連合の監事として、さらにA級審判員として各種大会において活躍中である。また、平成17年から8年間、事務局長職にあつて県内各地区水泳連盟との連携に力を発揮し、現在の県水泳連盟の強固な基盤づくりに貢献した功績は大である。
6	かわい かつよし 川合 勝芳	平成 5年 4月～11年 3月 山形県バレーボール協会 幹事 平成11年 4月～23年 3月 山形県バレーボール協会 事務局長 平成23年 4月～26年 3月 山形県バレーボール協会 事務局長兼副理事長 平成26年 4月～27年 3月 山形県バレーボール協会 副理事長 平成27年 4月～現在 山形県バレーボール協会 専務理事	山形県 バレーボール 協会	平成5年から山形県バレーボール協会幹事及び事務局長として、事務局業務の統括を長年担当するとともに、平成23年度からは副理事長として協会運営に加えて一般社団法人化に尽力し、組織体制の整備及財政基盤の強化等に果たした功績は多大なものである。現在、一般社団法人山形県バレーボール協会専務理事(旧協会における理事長職)として協会運営を主導するとともに、東北バレーボール協会理事、(公財)日本バレーボール協会代表委員の要職に就き、バレーボール競技の普及と振興及び競技力向上に大いに貢献している。当協会をはじめとする関係組織の要職に就き、競技の普及・振興に尽力するとともに競技力向上に真摯に取り組んできた功績は、他の協会会員の模範となるものである。
7	とがし いくせん 富樫 郁遷	平成 6年 4月～17年 3月 山形県体操協会 専門部委員長 平成17年 4月～26年 3月 山形県体操協会 副会長 平成16年 4月～18年 3月 山形県高等学校体育連盟 理事長 平成21年 4月～26年 3月 山形県高等学校体育連盟 体操専門部部長	山形県 体操協会	永年にわたり、新体操男子選手育成並びに「べにばな国体」の総合優勝に貢献した。また、山形県体操協会副会長として、新体操の普及発展や諸事業の運営に尽力した。本県体操界の発展に寄与した功績は誠に顕著である。
8	ながせ しげのぶ 長瀬 重信	平成 7年 4月～現在 山形県ソフトテニス連盟審判委員長 平成 7年 4月～14年 3月 山形県スポーツ指導者協議会事務局 平成14年 4月～26年 3月 山形県スポーツ指導者協議会 事務局次長 平成26年 4月～現在 山形県スポーツ指導者協議会 副理事長	山形県 ソフトテニス 連盟	平成7年4月から現在に至るまで23年にわたり、山形県ソフトテニス連盟の審判委員長として、審判員の指導・育成を図った。また、山形県スポーツ指導者協議会の役員として、永年にわたりスポーツの振興・発展に努めた。

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
9	うえの ひとし 植野 仁	昭和63年4月～平成6年3月 山形県卓球協会 理事 平成6年4月～8年3月 山形県卓球協会 理事長 平成8年4月～22年3月 山形県卓球協会 理事 平成22年4月～28年3月 山形県卓球協会 理事長兼事務局長 平成28年4月～現在 山形県卓球協会 副会長	山形県卓球協会	氏は「べにばな国体」において、成年男子(一部)の監督を務めベスト8入賞に導いた。これにより、卓球種目総合優勝に大きく貢献した。平成26年には、全国ホープス選抜卓球大会を誘致し成功を収め、山形県小学生の普及・競技力向上に大きく貢献し、3年後の全国中学選抜卓球大会の誘致にも繋がることとなった。また、各種県大会、東北大会の運営で陣頭指揮を執り大会を成功に導いた。氏は、30年の長きにわたり、協会役員として様々な面で卓球協会の発展に大きく寄与してきた。卓球に対する熱い思いとリーダーシップで多くの役員及び会員に認められ信頼は厚い。
10	こんの しょうじ 今野 章二	昭和62年4月～現在 鶴岡地区野球連盟 記録放送部長 平成7年4月～現在 山形県野球連盟 理事・記録放送部長	山形県野球連盟	昭和62年から鶴岡地区野球連盟の理事として、社会人野球の公式記録を中心としての大会運営に携わってきた。平成7年度からは、山形県野球連盟理事・記録放送部長として、大会運営業務に携わり、県大会以上の大会運営を中心として公式記録員として活躍した。また、県全体の取りまとめ役として、公式記録の普及とアナウンスの指導に尽力し、県内外の記録員及びアナウンス員の先導的立場としての功績は大きい。
11	さいとう たつよし 齊藤 辰義	昭和61年4月～平成2年3月 山形県ソフトボール協会 理事 平成2年4月～8年3月 山形県ソフトボール協会 常任理事 平成10年4月～20年3月 山形県ソフトボール協会 副理事長 平成28年4月～現在 山形県ソフトボール協会 副会長	山形県ソフトボール協会	昭和48年以来、村山市内の社会人チームの選手・監督として活動するとともに、永年にわたり地域におけるソフトボール競技の普及と振興に率先して取り組み、昭和56年以降は審判員としても精励され、山形県協会及び最北地区協会の運営に指導的役割を果たされた。また、最近では指導者委員長として、(公財)日本体育協会の公認スポーツ指導員養成講習会を積極的に開催されるなど、役員として協会の運営・育成にも尽力され、ソフトボール競技の普及と振興に寄与された功績は誠に顕著である。
12	おかだ としのり 岡田 壽紀	平成7年4月～11年3月 山形県バドミントン協会 常務理事 平成11年4月～13年3月 山形県バドミントン協会 会長推薦理事 平成13年4月～17年3月 山形県バドミントン協会 事業委員長 平成17年4月～26年3月 山形県バドミントン協会 副理事長 平成26年4月～現在 山形県バドミントン協会 会長推薦理事 平成29年4月～現在 山形県ジュニア育成会会長	山形県バドミントン協会	永年にわたり、山形県バドミントン協会の常務理事を務め、競技の強化指導・普及発展に努め協会組織を取りまとめ、その功績は高く評価される。特に、「べにばな国体」時には、成年男子の監督及び本県選手の強化に努め、国体において結果を残したことは、本県バドミントン界の歴史に残る功績である。協会組織の取りまとめだけでなく、国体終了後も引き続き選手の強化に努めた功績は大きい。
13	えいと かずあき 永登 一明	昭和57年4月～現在 尾花沢剣道スポーツ少年団 団長 平成9年4月～現在 山形県剣道連盟 理事 平成9年4月～現在 最北地区剣道連盟 理事長 平成25年4月～27年3月 尾花沢市体育協会 副会長 平成27年4月～現在 尾花沢市体育協会 会長	山形県剣道連盟	昭和57年から現在に至る36年間にわたり、地元尾花沢剣道スポーツ少年団長として、地域の剣道指導を継続している。平成9年、山形県剣道連盟理事に就任以来、県剣道連盟強化部長として、特に成年男女国体強化並びに成年女子部会の発足に尽力し、指導力を遺憾なく発揮し、本県剣道強化部の組織の充実を図るなど大きく改革した。更に、全国及び東北大会の開催をはじめ、県剣連が主管する各講習会・合同稽古会等剣道強化の充実、推進及び運営に多大な業績を残している。
14	ふかせ ひさお 深瀬 久男	昭和55年4月～58年12月 山形県空手道連盟 理事 昭和59年1月～平成5年12月 山形県空手道連盟 常任理事 平成6年1月～19年12月 山形県空手道連盟 副理事長 平成20年1月～23年12月 山形県空手道連盟 理事長 平成24年1月～現在 山形県空手道連盟 副会長	山形県空手道連盟	平成4年本県開催の第47回国民体育大会において、競技力向上委員、女子監督として少年女子形優勝、成年女子形第3位を達成し、総合得点第1位に貢献した。平成8年から6年間普及部長(副理事長)、平成14年から6年間競技部長(副理事長)として発展に貢献した。昭和51年から40年以上、自身の国体選手期間も含め常に空手道競技の前線に立ち、本県空手道連盟の発展、空手道の振興に果たした功績は誠に大である。
15	あいづ きゅうじろう 會津 久治郎	平成17年4月～現在 山形県少林寺拳法連盟 会長	山形県少林寺拳法連盟	山形県少林寺拳法連盟の会長として、10年以上の長きにわたり、当連盟の会長職としての実務と当連盟における組織発展のために貢献されたものは多大である。

平成29年度 功労賞(ライオンズスポーツ賞)受賞者

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	つばき ひろし 椿 央	第67回全国高等学校スケート競技選手権大会 スピード競技女子学校対抗 優勝 (山形中央高) 女子1000m・1500m 優勝 小坂凜(山形中央高) 女子チームパシュート 優勝 ウィリアムソンレミ・鈴木杏葉・小坂凜(山形中央高) 第73回国民体育大会 スケート競技会 少年男子500m 優勝 森重航(山形中央高)	山形県 スケート連盟	山形県スケート連盟強化部長並びに県立山形中央高校スケート部監督として、長年にわたり選手強化に尽力されている。本県スピードスケート界の競技力向上への道を大きく開拓し続けている功績は顕著である。今年度は、昨年に続いてジュニアワールドカップ大会に女子2名の選手が出場、入賞し活躍を見せた。また、インターハイでも女子チームパシュートは大会新記録での2連覇、スピード競技における学校対抗で女子総合2連覇に導いた。
2	すがわら みのる 菅原 稔	第72回国民体育大会 陸上競技 女子円盤投 優勝 齋藤真希 平成29年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 女子円盤投 優勝 齋藤真希	山形 陸上競技協会	高校教員時代から現在まで、陸上競技の生徒の指導にあたり、特に齋藤真希選手を今年度の地元インターハイチャンピオンにすべく、余目中学校時代から指導を続け、見事優勝に導いた功績は大である。
3	さとう たかお 佐藤 孝夫	平成29年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 女子200m 優勝 青野朱李 第11回U18日本陸上競技選手権大会 女子200m 優勝 青野朱李	山形 陸上競技協会	長年にわたり、高校陸上競技部顧問として生徒の指導にあたり、特に今年度の地元インターハイでは、青野朱李の優勝をはじめ、同校の阪希望(100mH)第7位、女子400mリレー第6位、学校対抗女子総合第4位及び女子トラック第2位の好成績を挙げた。さらに、本県陸上競技協会強化委員長として、今年度の国体では皇后杯第8位に導くなど、本県の競技力向上に多大なる功績を挙げた。
4	まつだ じゅんじ 松田 淳司	第72回国民体育大会 カヌー競技 少年女子カヤックペア 200m 優勝 増川知保(寒河江高)・佐藤友香(谷地高) 少年女子カヤックペア 500m 優勝 増川知保(寒河江高)・佐藤友香(谷地高)	山形県 カヌー協会	今年度県立寒河江高等学校で優勝した選手は、2年生でありながら全国トップレベルの実力の持ち主であり、来年度はペアだけでなくシングルの活躍も大いに期待できる。その指導は基本動作、基礎体力の向上に重点を置き、どんな状況でも力を発揮できる選手育成に励んでいる。本県の体育・スポーツ活動に対する貢献は誠に大である。
5	あしの たかし 芦野 貴士	第72回国民体育大会 カヌー競技 少年男子カヤックフォア 200m 優勝 佐藤旭・鈴木海渡・設楽勝太・戸田風優人(谷地高) 少年女子カヤックペア 200m・500m 優勝 佐藤友香(谷地高)・増川知保(寒河江高) 少年男子カナディアンペア 200m・500m 優勝 荒木岳樹・伊藤真大(谷地高) 平成29年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会 男子カヤックシングル 500m 優勝 佐藤旭(谷地高) 男子カヤックペア 500m 優勝 設楽勝太・小野隼人(谷地高) 男子カヤックフォア 200m 優勝 佐藤旭・鈴木海渡・設楽勝太・小野隼人(谷地高) 女子カヤックフォア 200m・500m 優勝 佐藤友香・中村天音・中村静玖・吉田奈未(谷地高) 男子カナディアンペア 200m・500m 優勝 荒木岳樹・伊藤真大(谷地高)	山形県 カヌー協会	県立谷地高等学校カヌー一部顧問として、日本代表選手を4名輩出し世界大会出場へ導いた。今年度の全国高等学校総合カヌー競技は地元開催ということもあり、プレッシャーのかかる中での戦いであったが、日本代表4名の選手を中心に多くの優勝・入賞を獲得し、男女ともに総合優勝を果たした。また、国民体育大会において、昨年に引き続き天皇杯を獲得した。その指導は選手一人ひとりに合ったプレースタイルを確立させ、チーム全体の底上げに励んでいる。今年度優勝した選手は1、2年生が多く、来年度以降の活躍も大いに期待できる。本県の体育・スポーツ活動に対する貢献は誠に大である。

平成29年度 感謝状受賞者

(市町村体育協会推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	さいとう けんいち 齋藤 健一	平成23年 4月～29年 3月 高島町体育協会 副会長	高島町 体育協会	地域スポーツの普及振興に多大な業績を挙げられ、高島町体育協会副会長の6年間は、特にスポーツ少年団本部の組織強化と運営に尽力された。また、本協会の地位(財政基盤の確立、透明性の高い組織運営)の向上を目指し、一般社団法人取得に特に貢献された。本協会の理事としても永年にわたり従事され、副会長等の要職を歴任し、豊富な経験と優れた見識をもって協会運営をされ、本協会の発展に大きく寄与された。
2	たかはし えいすけ 高橋 英助	平成17年 4月～23年 3月 高島町体育協会 副理事長 平成23年 4月～29年 3月 高島町体育協会 副会長	高島町 体育協会	地域スポーツの普及振興に多大な業績を挙げられ、高島町体育協会副会長の6年間は、特に本協会傘下団体の組織強化に尽力された。また、本協会の地位(財政基盤の確立、透明性の高い組織運営)の向上を目指し、一般社団法人取得に特に貢献された。本協会の理事としても永年にわたり従事され、副会長等の要職を歴任し、豊富な経験と優れた見識をもって協会運営をされ、本協会の発展に大きく寄与された。

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
3	うの せいすけ 宇野 靖介	平成11年 4月～28年 3月 山形県ベタンク協会 会長	山形県 ベタンク協会	平成4年山形県ベタンク協会設立時に理事長に就任され、平成11年から17年間の長きにわたり、会長として本協会の運営に多大な功績を残された。永年のご労苦に感謝の意を表す。

平成29年度 特別賞受賞者

氏名	受賞事項	推薦理由
つばき ひろし 椿 央	県立山形中央高等学校スケート部で育成した4名が、平昌冬季五輪の男子代表に選出された。	冬季五輪代表の男子国別出場枠8名のうち、いずれも山形中央高校出身の4名が選出された。五輪の同一大会・同一競技の代表に、同じ高校卒業の4名が選ばれるのは過去最多である。本県スピードスケート競技の土台を築き、多くの国内外で活躍する選手を育成し、本県スポーツ界の振興・発展に貢献した功績は多大である。